山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター主催
第２回緩和ケア市民公開講座開催報告

緩和ケアセンター事務局

令和元年 10 月 12 日、山口大学医学部医修館第１講義室において、宇部市の後援で、第２回緩和ケア市民公開講座を開催しました。

緩和ケアセンター助教山縣医師から「早期からの緩和ケア」について、宇部市健康増進課島田保健師から「宇部市のがん検診について」、特別講演として、周産母子医療センター准教授末岡幸太郎医師から「婦人科がんの検診から治療まで～早期からの緩和ケアの重要性～」について講演いただきました。

講演後は、リハビリスタッフのセルフストレッチ指導や、公認心理師のタッピングタッチ体験会、認定看護師のハンドマッサージなど癒し体験、管理栄養士の栄養相談、診療連携室看護師長、MSW による医療相談、アピアランスケア（脱毛や皮膚障害）の相談と、実際に患者さんやご家族が体験し、役立つプログラムを実施しました。

アットホームな雰囲気の中、患者さんやご家族の悩みを聞きながら、一緒に寄り添う時間を持つことができました。来年度は多くの患者さんやご家族に参加いただけるよう準備していきたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

講演の様子

治療中でも実践できる
セルフストレッチ

アピアランスケア

自分でできる
ハンドマッサージ

緩和ケアチームスタッフの力を集結

癒しの
タッピングタッチ

栄養相談

なんでも相談